

令和2年度・3年度 協働提案実施事業 最終評価項目別表

事業名	外国人母子の母子保健医療サービスへのアクセス改善を目的とした母親（妊婦）学級の強化と連携体制づくり
事業内容	外国人妊婦（ネパール人）が、妊婦面接、妊婦訪問や母親（妊婦）学級への参加を通して、母子保健医療サービスを理解することにより、外国人母子の保健医療サービスを受けやすくする。
実施団体名	特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会
担当課	保健サービス課（高円寺保健センター）

	評価項目	評価の視点	評価点	評価点数
I	事業計画	① 事業は、2年間を通して課題・ニーズを把握のうえ、適切に計画・実施されたか。	A	4.56
II	協働への取り組み	② 対等な立場で、かつ互いの特性を生かしつつ、事業が進められたか。	A	4.78
		③ 事業の進捗等に応じて、必要な情報共有や議論等を行いながら対応できたか。	A	4.67
		④ 協働により実施した事業効果が得られたか。	A	4.67
III	事業の成果等	⑤ 事業を通じて、他の団体や組織等とのネットワークが広がったか。	B	4.33
		⑥ 想定していた事業の成果（目標）が認められたか。	B	4.11
		⑦ 事業の実施により受益者の満足度が向上したか。	B	4.22
IV	総合評価	⑧ 協働事業を実施する必要性や発展性が認められたか。	A	4.78
総合評価（評価員の平均）			A	4.51

【評価基準】

A	高く評価できる	5 ～4.45
B	評価できる	4.44～3.45
C	標準的である	3.44～2.45
D	どちらかといえば評価できない	2.44～1.45
E	評価できない	1.44～1

【総評】

提案書類審査結果および公開プレゼンテーションに基づき、杉並区NPO等活動推進協議会は、「A（高く評価できる）」と評価した。以下に、協議会の委員から出された意見を纏める。

委員のなかで共有された意見として、1年目に比べると2年目では相当な改善が見られたことが挙げられる。具体的には、協働に関わる団体や組織のあいだの関係性が、コミュニケーションや役割分担等の点で改善されたこと、事業内容として、文化や言語に対する理解等が向上したこと、それぞれの活動の後の振り返りが適切に行われたこと等である。あわせて、新型コロナウイルス感染症のパンデミックという、事業計画段階では想定されていなかったような事態に陥ったなかで、ここまでの成果を出せたことも、高い評価に値する。

その一方で、懸念ないし改善点として指摘されたのが、第一に、サポートの対象が「母子」に限定されたことが出産・育児のサポートとしては不十分であったのではないかという点である。例えば、父親の存在を考慮に入れると同時に父親不在の状況にも配慮した家族の多様性を重視すべきであろうと考えられる。第二に、サポートする側にネパールの方もいたほうが異国の地での出産という点ではより望ましいのではないかという点である。この点と関連して、出産後のサポートの重要性を踏まえると、ネパール人によるサポートの重要性は一層明らかとなる。他の指摘としては、ネパール人に限定している点について、他の外国人にも視野を広げるべきなのではといった点や、出産についての祖国と日本との違いを踏まえて自己決定を促す仕組みの構築は検討に値するのではないかといった点等があった。最後に、こうした懸念や改善点の指摘は、この事業の発展性を期待するが故のものであるという点が、協議会のなかで強調された。